

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 51

於呂閑志胆沢川神社

(胆沢区若柳字下堰袋地内)



- ① 於呂閑志神社の本殿。向かって右側が胆沢川神社
- ② 猿岩の上に鎮座する奥宮。胆沢ダム工事のため、現在は立ち入りできない
- ③ 4月29日の春の例祭での式典
- ④ 例祭には巫女姿の少女たちも
- ⑤ 黒漆に彩色を施された厨子



石 淵の猿岩山の山頂に奥宮を持つ於呂閑志胆沢川神社。平安時代に嵯峨天皇が勧請した於呂閑志神社に、胆沢川付近で水神様をまつっていた胆沢川神社を明治4年に合祀したため、「於呂閑志胆沢川神社」といわれるようになりました。於呂閑志の名前の由来は、蝦夷の地主神の名前から付けられたもので、「へし」はアイヌ語で川を指すそうです。

この神社には、県指定有形文化財(建造物)の霊廟建築の伊達宗章霊廟厨子が安置されており、春と秋の例祭の式典の際に公開されます。伊達宗章は、2代目仙台藩主忠宗の末子に生まれ、前沢村を治める飯坂定長の跡取りとして婿入り後、16歳の若さで亡くなりました。宗章をまつったこの厨子は、もとは前沢の霊桃寺にあったのだそうです。須弥壇上に一間四方の入母

屋造りの厨子は、法隆寺の玉虫厨子と同じ黒漆に蜜陀絵手法で彩色され、江戸時代初期の様式美を今に伝えています。

4月29日の春の例祭では、前日に氏子らが奥宮の周辺で採取したユキツバキとクマザサ、お札が配られます。地域にはこれらを神のより代として、初田植えの際に五穀豊穡を願って水口に立てる風習があります。神社の脇を流れる寿安堰には、徳水園にある円筒分水で分けられた水が緩やかに流れ、奥州の大地を潤していきます。

水沢区方面からは、国道397号を西に向かい、徳水園の手前右側にある赤い鳥居が目印です。車でお越しの際は、国道をさらに西へ直進して、約7キロ続く桜並木のトンネルの下をドライブするのもお勧めです。

◇問い合わせ先 於呂閑志神社 (阿部 ☎2306)



パナソニック耐震住宅工法 テクノストラクチャーの家

モデルハウス 公開中!

お気軽にご来場下さい

あさ10時～夕方5時まで (火曜と水曜はお休みします)

パナソニックビルダーズグループ

高惣建設株式会社

TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

●オール電化 ●次世代省エネ基準クリア

0120-516-812

http://www.takasou.net/

MAP

※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
 ※おまは、奥州市のホームページでもご覧いただけます。 本紙1部の印刷費用は約28円です。

発行日/5月13日(木) 発行/奥州市/〒023-0850-1 若手県奥州市水沢区大手町1-1-1 ☎0197-242111 編集/総合政策部政策企画課 印刷/あべ印刷株式会社